

ふくいユーニアム

平成23年度特別展

2011.3.30 No. 42

鉄道博覧会

日本と福井の鉄道のあゆみ

今年の夏、
歴史博物館が鉄道一色になります！

夏休み、家族で乗ったあの電車。青々とした田んぼの中をゴトゴトと走って行ったあの電車。

私たちの心の中には、必ずと言ってよいほど鉄道の風景があると思います。

県立歴史博物館では、今夏、地方博物館としては最大規模の鉄道展を開催いたします。皆さんも鉄道の歴史を見ながら、懐かしいあの頃を思い出してみませんか？

それでは、現在進んでいる企画の概要について展覧会の内容に沿ってご紹介いたします。

第一部 鉄道の歴史

1 鉄道との出会い

明治5年に新橋～横浜間で日本最初の鉄道が開通したことは、多くの方がご存じだと思います。そのため、日本人が鉄道の知識を得たのは明治時代に入ってからのことと思われがちですが、実は幕末には一部の日本人の間で、外国に蒸気機関車が存在することが知られていましたし、その影響を受けて国内で蒸気機関車の研究を行う人もいました。展覧会の導入部として本コーナーでは、日本人と鉄道の出会いについて、歴史資料や模型を通して紹介します。



『遠西奇器術』より



昭和25年時刻表

2 鉄道開通

明治5年6月の品川～横浜間の仮開業、そして9月の新橋～横浜間の正式開業について、布告や時刻表、鉄道錦絵などを通じて紹介します。

3 伸びゆく鉄道

当初、国内には鉄道の建設に反対する人々も多く居ましたが、実際に鉄道が開通しその利便性を理解すると、そうした声は無くなり鉄道路線が全国へと伸びていきます。当初は、日本鉄道や山陽鉄道に代表されるように私鉄を中心に路線網が形成されましたが、明治39年の鉄道国有法により大手私鉄が国有化されていき、やがて昭和10年代の戦前の鉄道黄金時代へと向かいます。本コーナーでは日本全国に鉄道が伸びていく様子を解説します。

4 戦争・占領と鉄道

日中戦争を経て太平洋戦争が始まると、鉄道輸送は軍事優先に変わり、本土が空襲にさらされるようになると、軍事輸送を担っていた鉄道は空襲の大きな目標になり、

多くの鉄道施設が被害を受けました。そして、昭和20年8月に日本の敗戦により戦争は終わりましたが、終戦は鉄道にとって決して安泰な出来事ではありませんでした。米国を中心とした進駐軍は、日本占領と同時に鉄道輸送を掌握し、進駐軍専用列車を走らせるなど、占領政策に積極的に鉄道を利用していきます。これは昭和26年9月のサンフランシスコ講和条約まで続きます。今回の展示では、今までの鉄道展ではほとんど顧みられることがなかった、鉄道と戦争についても積極的に紹介します。

5 鉄道の近代化と黄金時代

昭和20年代後半になると戦後の復興も進み、鉄道も戦前の水準を取り戻すと同時に、近代化を進め客車中心から電車中心の運用へと変化しました。また、経済成長とともに旅客が激増し、それに対応するため全国に準急、急行、特急網を張り巡らしました。本コーナーでは、昭和20年代後半～30年代を中心とした戦後の鉄道黄金時代について解説します。

6 新幹線の時代

戦後における鉄道の集大成として新幹線が昭和39年に登場しますが、新幹線計画の前段階として戦前に東京～下関間の弾丸列車計画がありました。本コーナーでは、この2つの高速列車計画が密接に結びついていることを解説します。

第二部 福井の鉄道

1 北陸・小浜線の敷設

明治15年に長浜～敦賀間が開通し、その後、福井およびそれ以东への路線を延ばした北陸線と、大正11年に全通した小浜線の歴史、また計画のみに終わってしまった東北鉄道会社や加越電気鉄道、金城鉄道などについても紹介します。

2 北陸本線の興盛

北陸の大動脈である北陸本線は、当初は単線であり、しかも福井県内には柳ヶ瀬越えと山中越えの2つの難

所がありました。そのため輸送量も限られており、その改善が課題でした。本コーナーでは、北陸本線の改良と近代化、そして優等列車網の構築について解説します。

3 私鉄の盛衰

北陸本線を背骨とすると、そこから肋骨のように伸びる私鉄が福井には多数ありました。残念ながら、その多くは現在では廃線となってしまい見ることはできません。県内に細かく張り巡らされていた私鉄の鉄道網についてご紹介します。



戦前の福井駅駅弁掛紙

第三部 鉄道の旅

列車の高速化と共に鉄道旅行の楽しみも減ってしまいましたが、かつての鉄道旅行には駅弁を買ったり、食堂車で食事をしたり様々な楽しみがありました。第三部では、様々な切符や食堂車のメニュー、食堂車の模型などから鉄道の旅の楽しさについて紹介します。また、当館が誇る明治～昭和の駅弁掛紙5000枚のコレクションの一部も展示いたします。

第四部 懐かしの鉄道写真

旧北陸本線山中峠越え、福井鉄道鯖浦線・南越線、京福電鉄丸岡線・永平寺線、D51型蒸気機関車、DD50型ディーゼル機関車、ディーゼル特急「白鳥」号など、福井県内の鉄道や、福井では見られなかった国鉄車両など、懐かしい昭和30年代、40年代の鉄道写真がご覧になれます。(期間中に数回の展示替えがあります)

第五部 鉄道模型と鉄道切手

鉄道と言えば、鉄道模型が頭に浮かびますが、鉄道模型にも歴史があります。オープン収蔵庫では、戦後の鉄道模型の歴史をご紹介しますとともに、鉄道が描かれた日本切手の原画を展示し、鉄道にまつわる遊びの世界をご紹介します。

(水村 伸行)

開催期間

平成23年 7月1日(金)～8月31日(水)

開催場所

福井県立歴史博物館

観覧料

※()は団体料金

一般 / 400円(320)

大高生 / 300円(240)

中小生 / 200円(160)

